セミコン・ジャパン2011

きょう開幕

SEMICON® Japan2011

「セミコン・ジャパン2011」が7日（水）から9日（金）までの3日間、千葉市美浜区の幕張メッセで開催される。今年で35回目を迎え、半導体をめぐるマイクロエレクトロニクスを支える製造装置・材料産業の紹介をはじめ、100を超える論文が発表されるSEMIテクノロジーシンポジウム（STS）、国際標準化会議などさまざまなイベントで来場者を迎える。主催は国際半導体製造装置材料協会（SEMI）。開催時間は10時―17時まで。入場料は登録制で無料。

9日（金）まで千葉・幕張メッセ

半導体製造装置・材料　最新の情報発信

日本の半導体市場は、3月に発生した東日本大震災で工場閉鎖を余儀なくされたり、タイで発生した大洪水によって自動車向け半導体の先行きが不透明だったりと苦難が続いた。しかし半導体をとりまく製造装置各社は市場を日本国内から世界中に取引を拡大、今まさに苦難を乗り越えようとしている。セミコン・ジャパンは半導体製造装置・材料に関する世界最大の国際展示会として、業界を後押しする。

会場では新製品・新技術の展示以外にもさまざまな催しを行っている。半導体産業の次世代技術に焦点をあてた「次世代技術パビリオン」は発光ダイオード（LED）・有機発光ダイオード（OLED）エリア、3次元実装エリア、プリンテッドエレクトロニクスエリア、微小電気機械システム（MEMS）エリア、イノベーティブ・ベンチャーエリアーの5テーマで構成する。

さらに年々需要が高まっている中古装置パビリオンを今年も設けた。パビリオン内では出展者による技術発表が無料で聴講できる。

半導体製造にかかわる日本とアジア各国が手を取り合い、共に成長できることを目的として「Power of Asiaパビリオン」を設置。グローバルなネットワーク構築を図り、半導体産業の活性化を目的としている。

そして例年以上に大きく打ち出したパビリオンが「東北パビリオン」だ。パビリオン自体は毎年設置していたが、東日本大震災により地元企業の被災も相次いだ。一日でも早い復興・復旧へ祈りとエールが届くようにと、東北パビリオンを一新した。

また、STSでは8日（木）10時から「先端デバイス―新材料を用いた次世代デバイス」、同日14時から「先端メモリデバイス―不揮発メモリのプロセス・材料の現状と技術的課題」など、今注目すべきセッションを多数予定している（1セッション受講2万5000円）。

毎年一年の最終月に開催されるセミコン・ジャパンは半導体を通して「今年一年」の経済状況や景気・エレクトロニクス業界の動向を振り返るに最適な展示会となっている。各社の英知と技術が詰まっている小さな半導体を通して、来たる12年を予測しながら会場を回るのも一興だ。

ごあいさつ

競争と協調を通じて成長

セミコン・ジャパン推進委員会 委員長
東京エレクトロン 取締役副会長
常石 哲男

セミコン・ジャパンは今年で35回目の開催となりますが、その一回一回が、日本の半導体製造サプライチェーンの歴史を刻んできたことを感慨深く思います。

晴海で開催していた1970年代後半から80年代は、メモリーを中心とした日本半導体産業躍進の時代でした。超LSI技術研究組合などの国を挙げての支援に後押しされ、日本の技術力が半導体に結集されたこの間、装置・材料産業も共に秒進分歩の成長を続け、セミコン・ジャパンはその成果を世界へ発表する場として、常に新製品開発の目標となってきました。

ここ数年の世界的な経済危機・円高などの影響を受け、半導体サプライチェーンも大きな変化の中にあります。セミコン・ジャパンもリーマン・ショック後は小間数などの数字の上では縮小しましたが、依然として、技術シンポジウムなども併設した業界最大の展示会であり、今後の発展において欠かすことのできないイベントです。

3月の東日本大震災の影響は、世界の半導体市場と、それを利用する工業界全体にまで少なからず連鎖しましたが、各社の企業努力と皆さまからの多大なご支援・ご協力により、その直後から世界を驚嘆させるほどの回復を示しました。セミコン・ジャパン2011も、かくも多数のご出展者にご参加いただき、昨年とほぼ同様の規模での開催となったことは、セミコン・ジャパン推進委員会にとっても望外の喜びです。

会場で、半導体産業界のさらなる成長へと立ち向かい、下支えする半導体サプライチェーンの全プレイヤーの新技術と新製品をぜひご覧いただき、触れていただき、言葉を交わし、共に明日の繁栄を目指そうではありませんか。業界の大いなる競争と協調を通じて、より一層の発展と成長を確信するイベントへの皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

ごあいさつ

新しい価値創造 仕掛ける

SEMIジャパン 代表
中川 洋一

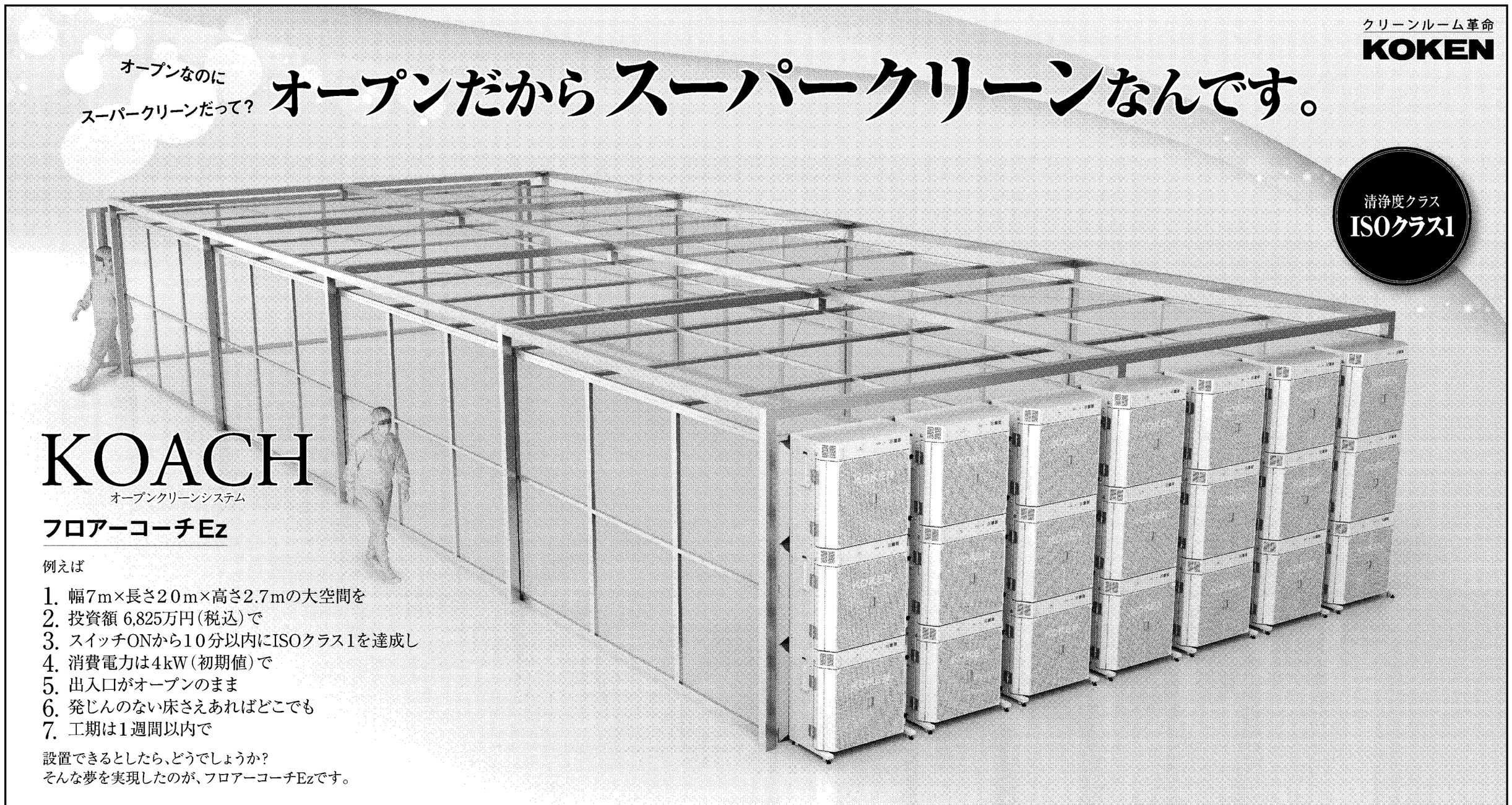
35回目となるセミコン・ジャパンが、今年も幕張メッセで開幕します。

日本経済の低迷もあり、半導体装置・材料業界に限らず、多くの展示会が困難な時代と戦っています。そのような中、今年のセミコン・ジャパンでは、「the power of Asia」というテーマを加えて、新しい価値創造を仕掛けています。

今年は、発光ダイオード（LED）／有機発光ダイオード（OLED）、3次元実装などの次世代技術パビリオン、中古装置パビリオン、東北パビリオン、学会・団体による特別展示コーナーのほかに、Power of Asiaパビリオンを新設しました。また、初日のオープニング・キーノートでは、ルネサスエレクトロニクスの赤尾泰社長をはじめ、Tata Motors、GLOBALFOUNDRIES、ASE Group各社のトップ・エグゼクティブからご講演をいただきます。さらに、8日には、「サプライチェーンとグローバライゼーション」と題して、東日本大震災からの復興に向けて課題や解決策をご提示します。SEMIテクノロジーシンポジウムでは、今年も貴重な講演がめじろ押しですが、初の試みである無料セッションを展示会場で行います。

学生プログラムとしては「半導体装置・材料業界　合同会社説明会」を初開催します。就職氷河期と言われていますが、この業界にはグローバルなビジネス展開をされている優良企業がたくさんあり、それら企業が集まるこのセミコン・ジャパンは、企業にとっても、学生にとっても最適な場ということで実現しました。

7日には東日本大震災の影響で夏から延期されたPVJapanも同じ幕張メッセで開催されています。再生可能エネルギーとマイクロ・エレクトロニクスに関する情報が満載の幕張メッセにぜひお越しください。



12月7日より幕張メッセで開催の「セミコン・ジャパン2011」に本製品を出品し、デモンストレーションを行います。
弊社の展示ブース［HALL5　5B-409］にお立ち寄りいただき、次世代クリーンルーム、「フロアーコーチEz」を是非ご体験ください。

セミコン・ジャパン 2011
日時：2011年12月7日(水)-9日(金)
場所：幕張メッセ国際展示場
セミコン・ジャパン2011ホームページ
http://www.semiconjapan.org/ja/

ショールームを開設しています。
詳細は弊社 HP まで。
http://www.koken-ltd.co.jp/koach.html
オープンクリーンシステム　検索

興研株式会社
環境エンジニアリングディビジョン
【本社】〒102-8459 東京都千代田区四番町7番地
TEL:03-5276-1931 FAX:03-3265-1976
E-mail:kankyo@koken-ltd.co.jp